

# 第26号 地域連携室だより

センター長のつぶやき

地域医療センター長 八木下 敏志行

新型コロナウイルスによる肺炎が急増しています。もはや国難と言ってよいレベルです。しかも現在進行中で終わりが見えません。

この感染症に対して私たちに出来ることは限られています。しかし私たちに出来る感染対策として、手洗いや、咳エチケットを確実に行いましょう。また不要な外出も極力控えましょう。

上総緩和ケア講演会を開催しました。



12月12日当院4階講堂において、千葉健愛会あおぞら診療所の川越正平先生をお招きして、君津圏域の緩和ケアについて考える会を開催しました。川越先生の講演で紹介された松戸市が実施している推進事業は「先進的なもの」との感想が多く寄せられたことから、取組の参考になると思います。また当院は、地域がん診療連携拠点病院として「地域の医療機関や在宅診療所等の医療・介護従事者と議論する場を設けること」が求められており、先生の講演前に一つの症例から地域の関わり方を多職種関係者に考えてもらう場を設けました。今回のイベントは9割の出席者から「大変良かった・良かった」との評価を得たことで、今後の地域緩和ケア事業の推進にあたり参考になったと考えます。

## 地域医療支援病院について

いまさら説明するまでもありませんが、地域医療支援病院とは「診療所等で対応できない重症の患者を地域医療支援病院に紹介し、一定の治療を終えた後にはかかりつけの診療所に逆紹介してもらう」「すべての診療所で高額な医療機器を整備することは難しいため、地域医療支援病院に機器を整備し、地域の診療所医師も共同利用を可能とすること」などが、地域医療支援病院に期待されておりました。今後のあり方については、厚生労働省の検討会の中で、在宅医療を提供している医療機関などを後方から支援する機能の明確化すること、地域医療構想調整会議を踏まえ、地域ごとに独自の機能要件の追加すること、医師少数区域の支援機能を持つ地域医療支援病院の類型を設定することと3点についての要件の見直し議論をしています。今後変更する内容について、注視していきたいと考えております。

## 局所災害訓練（JR君津駅構内）DMAT活動について

君津駅で行う局所災害訓練は今回で2回目になりますが、今回はテロによる多数負傷者を想定した訓練に参加しました。訓練は、トリアージエリア（赤エリア）での負傷者の安定化を図るとともに、優先順位、搬送先の決定する活動でした。エリア内では救急隊との連携が重要になりますが、このような訓練をとおして検証を行いながら、有事の際に対応したいと考えております。



### 『各イベントの開催中止について』

2020年2月20日(木)「医療連携の集い」・3月3日(火)かずさ創傷スキンケアセミナー・3月4日(水)結核研修会につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みて中止とさせていただきます。

### 『がんサロンのご案内』

がんサロンは、がん経験者やがん患者、ご家族が集まって情報交換や悩み、思いを話し合える場です。悩んでいるがん患者さん、ご家族にご紹介ください。

開催日 第3週金曜日 14:30から16:00

次回開催日 4月17日(金) 5月15日(金)

場所 2階患者図書室 対象 がん患者さん、ご家族(当院通院中の患者さんに限りません)

問合せ 0438-36-1071(代)担当 ソーシャルワーカー 保坂まで

編集・発行：国保直営総合病院 君津中央病院 地域医療センター地域連携室

木更津市桜井1010番地 TEL 0438-36-1071(代) FAX 0438-36-0399